

悪性胸膜中皮腫における好中球・リンパ球比、血小板・リンパ球比の有用性に関する検討

・はじめに

悪性胸膜中皮腫はアスベスト暴露と密接な関係のある病気ですが、日本では最近までアスベストが使用されていたこともあり、その罹患者が増加傾向にあります。悪性胸膜中皮腫には、手術や化学療法、放射線治療を組み合わせた治療を行います。侵襲が高い治療もあるため、そういった侵襲の高い治療に対して治療効果が期待される患者さんを選ぶことが重要であります。

治療効果を予測するための検査所見として、最近、白血球中に含まれる好中球とリンパ球の比率(好中球・リンパ球比)または血小板とリンパ球との比率(血小板・リンパ球比)が有用であることが報告されています。これらは、血液検査にて簡便に測定することが可能であるため、治療前にその効果を予測することができれば、非常に有用であると考えられます。

・対象

九州大学病院 呼吸器外科(2)および九州がんセンター 呼吸器腫瘍科にて1997年1月1日より2014年12月31日までに、悪性胸膜中皮腫に対して手術、化学療法を行われた140名を対象と致します。九州大学病院 40名、九州がんセンター 100名を対象と致します。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。

・研究内容

九州大学病院 呼吸器外科(2)および九州がんセンター 呼吸器腫瘍科において手術、化学療法を行われた悪性胸膜中皮腫患者さんの血液検査所見のうち、好中球数とリンパ球数の比、および血小板数とリンパ球数の比を調べます。その結果と患者さんの臨床情報(① 臨床所見(年齢、性別、現病歴、既往歴、職業歴、生活歴、自覚症状、全身状態) ② 血液所見(WBC, WBC分画, RBC, Hb, Ht, Plt, TP, Alb, AST, ALT, LDH, CHE, BUN, Cre, T. Bil, D. Bil, ALP, γ -GTP, CPK, CRP, T. Chol, TG, HDL-C, LDL-C, Na, K, Cl, Ca, P, CEA, SCC, NSE, CYFRA, proGRP) ③ 画像所見(CTの腫瘍径、FDG-PETのSUV max値) ④ 病理解剖学的所見(病理組織学的診断) ⑤ 治療(手術術式、化学療法の投与薬剤、術後治療の有無/投与薬剤・放射線治療) ⑥ 再発の有無、予後との関係を調べ

ることにより、どういう患者さんの場合に治療の成績が良くなるのか、またどう
いう場合に更なる治療が必要になるかなどを考察します。

この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることは
ありません。

・個人情報の管理について

個人情報漏洩を防ぐため、九州大学病院 呼吸器外科(2)および九州がんセン
ター 呼吸器腫瘍科およびにおいては、個人を特定できる情報を削除し、データ
のデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を
閲覧することができないようにしております。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者
さんを特定できる情報は一切含まれません。

・データの二次利用について

本研究において得られたデータ等は、九州大学病院 消化器・総合外科におい
て、同科教授 前原 喜彦の責任の下、研究期間終了後5年間保存した後、登録
番号等を消去し、廃棄致します。本研究において用いられた資料を二次利用する
予定はありません。

・研究期間

研究を行う期間は承認日より2019年3月31日まで

・医学上の貢献

本研究により被験者となった患者さんが直接受けることができる利益はあり
ませんが、将来、研究成果は悪性胸膜中皮腫の治療予測、新しい治療法の発見の
一助になり、多くの患者さんの治療と健康に貢献できる可能性が高いと考えま
す。

・研究機関

研究機関の名称 : 九州大学病院
研究機関の長 : 九州大学病院長 石橋達朗
研究責任者
九州大学大学院医学研究院 消化器・総合外科 教授 前原 喜彦

研究分担者

九州大学大学院医学研究院 がん先端医療応用学 准教授 岡本 龍郎

九州大学大学院医学研究院 消化器・総合外科 共同研究員 田川 哲三
(研究計画書作成担当者)

九州大学大学院医学研究院 がん先端医療応用学 助教 諸富 洋介

九州大学大学院医学研究院 形態機能病理学分野 教授 小田 義直

九州大学大学院医学系学府 消化器・総合外科学分野 大学院生 鈴木 雄三

九州大学大学院医学系学府 消化器・総合外科学分野 大学院生 藤下 卓才

九州大学大学院医学系学府 消化器・総合外科学分野 大学院生 桂 正和

九州大学大学院医学系学府 消化器・総合外科学分野 大学院生 高田 和樹

九州大学大学院医学系学府 消化器・総合外科学分野 大学院生 高森 信吉

九州大学大学院医学系学府 消化器・総合外科学分野 大学院生 赤嶺 貴紀

共同研究者

国立病院機構 九州がんセンター 臨床情報研究部 部長 一瀬 幸人

国立病院機構 九州がんセンター 呼吸器腫瘍科 医長 竹之山 光広

国立病院機構 九州がんセンター 呼吸器腫瘍科 医師 山口 正史

国立病院機構 九州がんセンター 呼吸器腫瘍科 医師 島松 晋一郎

研究事務局：九州大学病院 消化器・総合外科(第二外科) 医局

連絡先担当者：

九州大学大学院医学研究院 消化器・総合外科 共同研究員 田川 哲三

九州大学病院 がん先端医療応用学 助教 諸富 洋介

電話：092-642-5466 (第二外科医局：平日 8:30-18:00)

092-642-5473 (第二外科病棟：夜間、休日)

FAX：092-642-5482

E-mail：ttagawa@surg2.med.kyushu-u.ac.jp

研究計画書及び研究の方法に関する資料は入手、閲覧できます。入手・閲覧をご希望の方は、上記研究事務局までご連絡下さい。

また、本人等からの個人情報の開示の求めに応じて、保有する個人情報のうち、その本人に関するものについて開示を行います。